



## 2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2020年2月14日

上場会社名 株式会社ライトアップ  
 コード番号 6580 URL <https://www.writeup.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 白石 崇

問合せ先責任者 (役職名) 取締役最高財務責任者 (氏名) 村越 亨

TEL 03-5784-0700

四半期報告書提出予定日 2020年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第3四半期の業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	1,176	7.8	72	52.1	71	48.2	50	46.5
2019年3月期第3四半期	1,090	4.6	150	43.6	138	48.3	94	50.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	19.24	19.09
2019年3月期第3四半期	33.25	32.97

(注) 1. 2018年6月22日付で東京証券取引所マザーズ市場に上場したため、2019年3月期第3四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、新規上場日から2019年3月期第3四半期会計期間末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	1,805	1,518	84.1	580.75
2019年3月期	1,811	1,467	81.0	561.74

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 1,518百万円 2019年3月期 1,467百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		0.00	0.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,781		263		260		163		62.37
	~ 1,958		~ 381		~ 378		~ 234		~ 89.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期3Q	2,903,000 株	2019年3月期	2,903,000 株
2020年3月期3Q	287,923 株	2019年3月期	290,300 株
2020年3月期3Q	2,613,293 株	2019年3月期3Q	2,828,610 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は、本資料の作成時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって、予想の業績と異なる場合がありますのでご了承下さい。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	1
(1) 経営成績に関する説明 .....	1
(2) 財政状態に関する説明 .....	1
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	4
第3四半期累計期間 .....	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	5
(継続企業の前提に関する注記) .....	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	5
(追加情報) .....	5
(セグメント情報等) .....	6
(重要な後発事象) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益や設備投資に底堅さが見られ、緩やかな回復基調を維持しております。しかしながら、米中貿易摩擦の激化等による世界経済の不確実性や消費税増税に伴う個人消費等への影響が懸念されるなど、依然として先行き不透明な状況となっております。

このような経営環境の中、当社では「全国、全ての中小企業を黒字にする」という理念のもと、クラウドソリューション事業とコンテンツ事業を展開した結果、当第3四半期累計期間の売上高は1,176,428千円(前年同四半期比7.8%増)、営業利益は72,141千円(同52.1%減)、経常利益は71,577千円(同48.2%減)、四半期純利益は50,282千円(同46.5%減)となりました。

なお、当社におきましては、クラウドソリューション事業において、下期に売上が偏重する傾向にあります。これは、Jエンジンのコンサルティング内容に含まれる公的支援制度活用支援サービスの提供が年度の更新作業等で期初数か月ずれることや、年度末の3月に公的支援制度の申請が集中するといったことに起因します。またコンテンツ事業においては、第4四半期に顧客企業に対する納期が集中する傾向にあります。これらの要因により、今期の売上予算につきましても、年度の下半期に収益が偏重する計画を立てております。

当第3四半期累計期間において、前年同四半期比では、クラウドソリューション事業の「JDネット」サービスなどの好調により増収の一方、人件費、広告宣伝費、販売促進費などの販売費及び一般管理費が増加したため、増収減益となっております。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

クラウドソリューション事業部門におきましては、パートナー企業によるIT・人材・マーケティング関連商材の開発、仕入れ及び営業支援を行っている「JDネット」サービスと経営課題解決エンジン「Jエンジン」を軸にIT・人材・マーケティング・資金の4つの視点から経営課題の解決施策を提案するコンサルティングサービスを展開してまいりました。当第3四半期累計期間は、JDネットにおける新規パートナー企業の加入及び商材の販売はおおむね計画通り堅調に推移しました。Jエンジンにおけるコンサルティングサービスにおいては、公的支援制度活用支援サービス及び人材採用関連サービスは前年同四半期比で大きく伸びましたが、研修サービス他の売上減少を補うまでには至りませんでした。

当事業部門においては、全体として売上は前年同四半期比で増加した一方、販売強化のため積極的に人材を採用したことによる人件費の増加や、広告宣伝費や販売促進費が増加したことにより、販売費及び一般管理費も増加しました。

この結果、同セグメントの売上高は905,926千円(前年同四半期比12.0%増)、セグメント利益は178,082千円(同26.8%減)となりました。

コンテンツ事業部門におきましては、業種、規模を問わず、様々な企業の「メール・Webマーケティング」等の企画制作を請負うサービスを展開しており、緩やかな景気の拡大に伴う市場環境に合わせサービスの受注拡大と生産性向上に努めてまいりました。当第3四半期累計期間は、メール及びソーシャルメディア分野は堅調に推移しましたが、Web及びコンテンツ制作において減収となりました。

この結果、同セグメントの売上高は270,502千円(前年同四半期比4.2%減)、セグメント利益は64,607千円(同16.6%減)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第3四半期会計期間末の資産合計は、前事業年度末と比べ5,535千円減少し、1,805,881千円となりました。これは主に、固定資産のその他の資産が37,158千円増加したものの、現金及び預金が17,719千円減少、受取手形及び売掛金が9,230千円減少、流動資産の貸倒引当金が23,415千円増加、固定資産の貸倒引当金が17,418千円増加したことによるものであります。

## (負債)

当第3四半期会計期間末の負債合計は、前事業年度末と比べ56,585千円減少し、287,174千円となりました。これは主に、前受金が26,850千円増加したものの、買掛金が58,700千円減少、未払法人税等が39,866千円減少したことによるものであります。

## (純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産合計は、前事業年度末と比べ51,049千円増加し、1,518,706千円となりました。これは主に、利益剰余金が48,715千円増加したことによるものであります。

なお、自己資本比率は84.1%となっております。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の通期の業績予想につきましては、2019年5月15日に公表いたしました通期業績予想を変更しております。詳細については、本日(2020年2月14日)公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,358,346	1,340,627
受取手形及び売掛金	318,268	309,037
仕掛品	4,144	6,850
貯蔵品	1,820	1,311
その他	35,434	54,853
貸倒引当金	△27,947	△51,362
流動資産合計	1,690,067	1,661,317
固定資産		
有形固定資産	10,755	12,096
無形固定資産	6,309	9,312
投資その他の資産		
敷金	82,944	82,073
その他	23,179	60,338
貸倒引当金	△1,837	△19,256
投資その他の資産合計	104,285	123,155
固定資産合計	121,350	144,564
資産合計	1,811,417	1,805,881
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	109,987	51,286
短期借入金	30,000	30,000
未払法人税等	39,866	-
前受金	100,699	127,549
その他	62,884	75,116
流動負債合計	343,437	283,952
固定負債		
リース債務	322	3,222
固定負債合計	322	3,222
負債合計	343,760	287,174
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	386,381	386,381
資本剰余金	304,281	304,281
利益剰余金	1,063,521	1,112,236
自己株式	△286,526	△284,191
株主資本合計	1,467,657	1,518,706
純資産合計	1,467,657	1,518,706
負債純資産合計	1,811,417	1,805,881

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	1,090,832	1,176,428
売上原価	343,330	358,515
売上総利益	747,502	817,912
販売費及び一般管理費	596,850	745,771
営業利益	150,651	72,141
営業外収益		
受取利息	5	6
その他	185	4
営業外収益合計	190	11
営業外費用		
支払利息	378	363
支払手数料	12,373	180
その他	-	31
営業外費用合計	12,752	574
経常利益	138,090	71,577
特別損失		
固定資産除却損	-	592
特別損失合計	-	592
税引前四半期純利益	138,090	70,985
法人税、住民税及び事業税	44,089	30,481
法人税等調整額	△51	△9,778
法人税等合計	44,038	20,702
四半期純利益	94,051	50,282

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第3四半期累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

株主資本の金額の著しい変動

当社は、2018年6月22日に東京証券取引所マザーズ市場に上場いたしました。上場にあたり、2018年6月21日を払込期日とする公募増資による新株式150,000株の発行により、資本金及び資本準備金がそれぞれ194,580千円増加しております。

また、2018年7月27日を払込期日とする有償第三者割当増資(オーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資)による新株式71,000株の発行により、資本金及び資本準備金がそれぞれ92,101千円増加しております。

この結果、当第3四半期会計期間末において、資本金が386,381千円、資本準備金が304,281千円となっております。

II 当第3四半期累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。



(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	クラウドソリューション 事業	コンテンツ 事業	
売上高			
外部顧客への売上高	808,234	282,597	1,090,832
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	808,234	282,597	1,090,832
セグメント利益	243,504	77,474	320,978

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	320,978
全社費用(注)	△170,327
四半期損益計算書の営業利益	150,651

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## II 当第3四半期累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	クラウドソリューション 事業	コンテンツ 事業	
売上高			
外部顧客への売上高	905,926	270,502	1,176,428
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	905,926	270,502	1,176,428
セグメント利益	178,082	64,607	242,690

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	242,690
全社費用(注)	△170,549
四半期損益計算書の営業利益	72,141

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。